

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には奉天詳細なる商況物價の報告あり

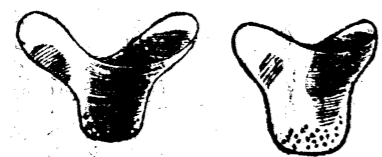
明治廿八年五月十日 金曜日
 第四千八百九十五号
 本報創始於西曆一千八百九十一年
 西曆一千八百九十一年五月十日
 創始於西曆一千八百九十一年
 西曆一千八百九十一年五月十日
 創始於西曆一千八百九十一年

清國の爲め悲しむ

清國の爲め悲しむ 清國の衰弱は恰も渡りに舟の好都合にふそければ彼等は自家の利益の爲めに喜んで運動しながら其運動の表面は他の爲めにするもの如くにして清國に取ては目下の難を救はれたる大恩人なるが故に自から之に酬ゆる所なきを得ざるは勿論、或は今回別に授受の事なしとするも他日に至りて恩人の求めどれば容易に拒む可らず然るに其恩人は獨り陰徳を施して自から喜ぶが如き莫然たる道徳家に非ず目下の運動は他日の陽報を得んが爲めにして其求むる所は必ず大なるものあり可し今後清國が数年を出でず外國との交渉を生じて獨立の運命を危くするに至るは必然の成行にして今回の衰弱を亡國の先驅ならぬの李鴻章の如き多少は事理に通じてる人物にてありながら斯る賭易き道理を解せずして軍に目前の姑息を謀るとは實に呆果たる次第と云ふ可し然りと雖も隣國の不幸は隣國の事なり唯吾々は日本國民として百折不撓、如何なる不愉快と感し如何なる辛苦を嘗むるも進んで國權を主張して一歩も退かざるの覚悟あるのみ

北支那内情一斑

北支那内情一斑 清國內地の商業に於て最も煩雜なるは錢勘定なり今通貨の諸類を聞くに 無兩銅錢其種類多く且つ原質に善惡あり相場の高低あり引換の異同あり 元 實 銀 即ち兩と稱するものは北京政府に於ては二錢五十兩を以て定額となせども各地方鑄造所に一定の模範なきを以て多少輕重同じからず一々秤量によらざれば其實量を知るに由なし南北各省に行はるるもの種類多ければ東三省に通用する元實にして善良なるものを五種に別ち得べし 第一上海方元實 上海の鑄造に係り一名上海銀と曰ふ一錢の量五十二兩あり 第二烟臺白實 芝罘の鑄造なり一名烟臺元實銀と云ふ一錢の量五十二兩あり 第三錦元實 營口錦州、金州、矜子高等地方の鑄造に係る一錢の量五十二兩あり



第四方銀 天津の鑄造なり一錢四十九兩以上に九九二の紀章あり此銀は一錢に付錫四錢を混じれば諸人之を喜ばず然れども政府より御用商人に拂渡すには多く之を用ひて私利を營むものなり

第五黑老虎 河南の鑄造なり又廣義實銀と云ふ量目五十一兩なり以上五種の外に 小元實 又廣義實銀と云ふものあり江北鹽城の鑄造に係る一錢の量十兩なり

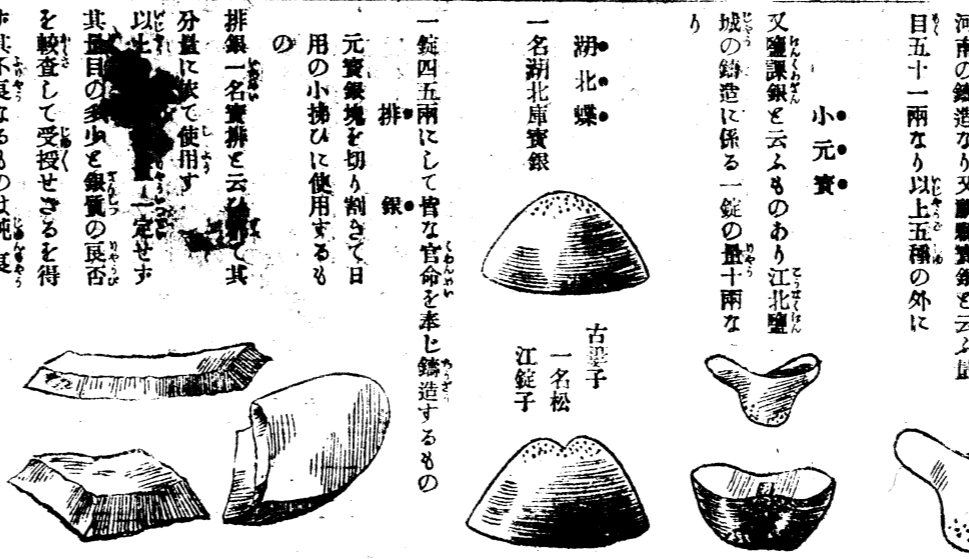
湖北銀 一名湖北庫實銀 古票子 一名松江錠子

一錠四五兩にして皆官命を奉じ鑄造するもの元實銀塊を切り割きて日用の小拂ひに使用するも 排集一名實辨と云ふ其分量に依りて使用する以上一定せず其量目の多少も銀質の良否を較査して授受せざるを得ず其不良なるものは純良なるものに對して割合を異にする之を 加色 と云ふ即ち其額面より割増しをなすなり故に加色多きは實の宜しきものなり

上海銀 一兩二錢 芝罘銀 六錢 天津銀 五錢 煙臺銀 三錢 銅 八錢

其他銀貨不良なるものは五十兩の内より若干の割引をなす之を 控色 と云ふ古票子即ち松江銀の如きは最も粗惡なるものなり加色銀は五十兩に對し支拂ふものにて五十兩以上は加色をなさず排集には加色控色ともなし

公估局 銀兩の善惡真偽を鑑定する所を公估局と云ふ各關港場には政府の許可を得たる局あり一兩に付鑑定料銅錢五文を徵收す若し此局にて其鑑定を誤りたる時は銅錢鑑定料を拂はざるのみならず其銀兩の全數を賠償するの責任を有す其鑑定したる善良の銀には公估局の刺印を打ち不良なるもの或は偽物には之を打たず



銅錢は各省の官庫にて鑄造小厚薄善惡等同じからず必ず可を得るも雖も大小等差の高きものとあるか或は缺乏等許を得るを以てなり 政府鑄造の規定は銅八分鉛の多きなり赤色なるは鉛の方にては銅錢を造らず都て銅錢の稱は地方によりも亦此類を免れず

銅錢の稱呼(東錢) 金州にて之を別つて四種 第一中錢 又京錢と稱するもの謂にして銅錢五個を五百個と一吊とす中錢一吊に當る 第二老錢 又制錢と稱するもの謂なり銅錢一個を一成錢と稱し一千個を一吊老錢と稱する算法なり老錢一吊故に又六百二十五文と稱す 第三東錢 關東の略語に用するの稱呼なり東錢兩五個を三成、六個を四成、二個を七成、十三個を八成、百、卅三個を二吊、四十九、八十二個を五百、一百六古來よりの規定なり 八二錢と八十錢 前記の十二個を二つ合せて一吊なるに旅順開設後南方各省の銀兩の數を熱知せざるを以て之を十六個を二吊とせし三十、百、六十四個を四百、八十、の稱あり今も尙は雙喜標、雙喜標以西旅順附近は總所左の如し

制錢 一吊 東錢一千個 五百個 第四私錢 南方各省の人民常の銅錢を鑄造し小錢に錢六吊を造り大庫中に貯貼付し額外に送り出し内て大錢に當て或は銅錢のと云ふ俗に 黃錢、魚眼、沙錢 なき呼ぶものは是れより政改造者は新に處せらる

五十六入

前記の外に成る稱する算法さる諸數を拂ふに就ての規程とし一吊を分つて百とし毎

FUJI MICRO SAFETY A N